

「第三次発掘補足調査」の報告

現場の状態確認と保持をし、第三次発掘調査でできなかった部分を補おうと、補足調査を計画しました。5月に先行して、「専門班とはしかけを中心とした補足調査」をした結果、何回も水抜きをするより水没状態の方が現場を維持できることがわかりました。9月には多賀町立博物館のたが発掘ツアーの事業にあわせて「第三次発掘補足調査」を行ないました。

「専門班とはしかけを中心とした第三次発掘補足調査（5月）」の記録

2015年5月20日(水)～22日(金)

3日間とも好天になり、発掘の補足ができました。

5月20日(水) 調査第1日目 晴れ

朝から滋賀県南部は放射霧で北部は晴れ。てきました。補足調査なので、第三次発掘でできなかったところを、三次発掘と同じように層に沿った掘りかたをすることにしました。最初4月の発掘終了時にできなかった「三次発掘調査で掘り進んだ地形」の測量も行いました。発掘は少人数で中央セクションの北側の斜面の、グリッド12から隣接するグリッド7や13へ広げました。

洞窟調査に使う用の簡易組み立て小型屋根テントを持って行って小さいけれども日陰をつくりました。気温も高く蒸し



暑い日だったこともあって「6月～8月にここで発掘するのは風もないのできびしいという意見も出ました。特記事項として



はシカの歯が出たこと、事務局は交代で発掘現場へ出て、親子化石体験に使う粘土の用意もしました。何とか発掘を最小限の体制で行いました。

参加者…はしかけ：2名 専門班：3名 事務局：4名+測量に3名

5月21日(金) 調査第2日目 曇りのち晴れ

前日の夕方大変寒くなり夜には少し雨が降ったが、朝には曇りで午後は晴れ。午前中は風で軽い簡易テントが少し移動しました。前日とおなじくグリッド12の斜面・グリッド7とか13を掘りました。花粉の研究をする学生さんが指導教員の先生とともに参加、また、琵琶湖博物館からも植物班、花粉化石班が参加、3日間の中ではいちばんにぎやかな日にな

りました。標本は植物が多く出ました。事務局は交代で発掘現場へ出ました。

参加者… はしかけ：2名 専門班：5名 事務局：3名



5月22日(金)調査第2日目 晴れ

3日目も晴れました。人数は若干少なめ。

E層下部層では掘っているうちにグリッド12あたりでも、ある方へと深く掘って下のノジュール付近より20cm～30cm下で咽頭歯なども見つかりました。

お昼休みには、珍しく、真面目な小議論もしました。多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトの多賀町立博物館のスタッフの発掘時の取り組み方、事務局のあり方についてご意見をいただきました。また、はしかけの活動内容に関するお話、多賀町発掘隊の活動の盛り上げ方についてもご意見を聞きました。16時前後片付けをして本日の発掘を終えました

参加者… はしかけ：3名 専門班：1名 事務局：2名

まとめ 咽頭歯もたくさん出て下のノジュール層の特徴も少し見えかけてきたかなということ、三次発掘(3・4月)の終了後の測量ができたことなどが今回の成果かなと思います。6月6日の親子化石発掘体験の粘土も粘土の山からコンテナ19杯ぶんこの期間に掘り起こせました。



「第三次発掘補足調査(9月)」の記録

2015年9月7日(月)～9月14日(月)

第三次発掘調査で掘りきれなかった層まで掘り、次の第四次発掘調査に備えよう!…という目標を掲げて、さいしょは9月7日～14日までを第三次発掘調査の補足調査期間に設定しました。気合十分で臨んだ今回の調査ですが、台風18号の影響で開始できず、10日に集まってようやく作業を始めることができました。「天気ばかりは思った通りにならない」残された日程でどんな調査が



9月9日 水没した現場…

行われたのでしょ。

9月10日(木) 調査第1日目

前日まで雨続きで、やっと調査が始められると思っていました。水を抜いた後、みなさんに「9月10日(木)の午後は発掘を始められそう」と連絡したけど帰り道にはザーッと雨が降ってきました。

10日8時半に発掘現場へ行ったら、案の定、前日の水を抜く前の水位まで戻っていました。おまけに発電機の調子が悪く、フル回転で動かしても水位がなかなか減りません。こうして、とうとう午後にも調査が始められませんでした…。

参加してくれた人には、発掘現場の整備をしていただいたり、12日の発掘ツーリズムのモニターツアーで化石発掘体験をしてもらうための粘土塊の掘り起こしに汗を流してもらったりしました。おかげでこれに関する準備は整いました。

この日の収穫は、粘土の山の調査で植物化石(ヒメシヤラのようなもの)を1個採集できたぐらい。

休憩時間に現生のハンカチノキの実を観察したり、いろいろな話をしました。

現場に満杯だった水は、16時30分まで排水して-78cm(A3基準に測って)まで水位が下がりました。壁のあちらこちらに高さ(水の高さで)がわかる赤い目印をつけたのが10日の成果でしょうか。翌日から掘り始めなので、グリッドG14の方に取り組むことにしました。ここはF層最上部にあたります。

参加者…

はしかけ：4名 発掘お助け隊：0名 専門班：1名 多賀町発掘隊：0名 事務局：3名(+博1名)

9月11日(金) 調査第2日目

11日はやっと好天になりましたが、参加者は少なく静かな発掘になりました。9時前に現場に到着して発電機をスタートさせましたが不調。

中央セクションの南側のグリッドG14のF層上部にあたる粘土を掘って、観察したあとの粘土は新たに山を設けて「G14 F層」という山に置くことにしました。午前中、今回から新たに多賀町発掘隊として参加することになった方を加えて発掘、掘り始めてすぐ貝化石が2個見つかりました。粘土は水を良く吸って割りやすい状態でしたが、その後は何もなくて…最後に、ネクイハムシだけが見つかるというさみしい結果でした。G14あたりは、上に乗っていた水を含んだ表土をとり除き、掘りやすくするようにしました。また、翌日の発掘ツーリズムにむけて、歩くコースの環境整備もできました。

12日のモニターツアーのお客さんが現場のテントで化石発掘



粘土の山を調査



発電機、頑張って!!!



貝化石、発見!

体験をしている頃に、私たちは「大物がでたぞ！」と言えるように頑張ろうと思いました。

参加者…

はしかけ：1名 発掘お助け隊：0名 専門班：2名 多賀町発掘隊：1名 事務局：3名（+博1名）

9月12日（土）調査第3日目

12日は朝から好天、晴れて気温が上がる予報でした。この日は多賀町立博物館の多賀発掘ツーリズムモニターツアーが予定されており、発掘現場もコースに入っていたので、朝の集合の時に参加者みなさんにもどんな内容か説明しました。

参加人数が増えたので、グリッド14でF層を発掘する班と、中央セクションの北側のグリッド12でE層下部層を発掘する班に分かれました。たいへん良い天気になり、気温も上昇したため、みんなバテ気味でした。

午前中は足跡化石班も来て壁面や表面の足跡化石を調べました。ツアー参加者にも発掘や足跡化石の説明もできました。

グリッド14のF層では昆虫化石がいくつか出てきましたが、骨化石はまだ出てきませんでした。昼休みのあと、壁面にE層とF層の境目を黄色く目印、それを基準に掘り下げていきます。15時からは陽も傾き加減になってきましたが、メンバーが少し入れ替わって、大きめのブロックで割って化石をさがすことになり、後ろの置き場もやや大きな粘土ブロックの山に見えてきました。

グリッド12（E層下部層）では、新たな多賀町発掘隊2名の方も発掘、ここではきれいな貝化石がいくつか見つかりました。

事務局で「多賀町古代ゾウ発掘プロジェクト第三次発掘補足調査（9月）学習会・標本採集の注意」を作ったので、昼休みに短時間説明をしました。また、休憩時には発掘の成果をメンバーにどう伝えるか、発掘された実物を見ながらの研修会の必要性などについて、はしかけの活動や多賀町立博物館の活動との関連性からいろいろと議論しました。



参加者…

はしかけ：3名 発掘お助け隊：0名 専門班：6名 多賀町発掘隊：2名 事務局：1名（+博1名）

（※ このほかに多賀発掘ツーリズムモニターツアー担当者）

9月14日（月）調査第4日目【最終日】

最終日の14日の朝のうちはそれほど暑くもなく、掘りやすい天気でした。休憩時には、調査絵日記ノートと化石学習ノートが話題でした。その日の様子を記憶して、帰ってからきれいにまとめられていること、絵が美しく、こういった形で個人個人がまとめをし、学習することはとても良いことですね。

休憩後の発掘時間には、昆虫の翅が出ました。この化石は全員に見てもらっており、出てきた化石の情報をみんなが共有することができていいと思いました。すぐに保存作業するのも大事です



まとめノートを見る



最終日の頑張り

が、何が出たのかお互いに知る前に収蔵してしまうともったいないこともあります。後半はもくもくと掘る静かな発掘となりました。昼休みをはさんで午後の発掘は15時ころまで、ということにしていたのですが、結局、15時半近くまで頑張り、誰からともなく後片付けが始まりました。手際よい片付けで16時頃にはテントもたたみ終わり、反省会ができました。

参加者…

はしかけ：3名 発掘お助け隊：0名 専門班：2名 多賀町発掘隊：0名 事務局：2名

調査は設定した7日間のうち4日間実施でき、とくに12日のたが発掘ツアーではメンバーのみなさんにお世話になりました。

9月の第三次発掘補足調査ではF層の上部30cmまでくらいを先行発掘したところ、貝化石が多いところもありましたが、全然化石が出ないところもありました。また、骨化石には今回はあたりませんでした。

今回の第四次発掘調査では、骨化石が眠ると思われる層を掘り進める予定です。そして、多賀町古代ゾウ発掘プロジェクトもこれまでの調査成果を報告するために、まとめの年になります。アケボノゾウ化石が出てきたときと同じような感動が味わえることを祈って、次の調査に挑みましょう！

第三次発掘調査から第三次発掘補足調査を通じた化石の成果

第三次発掘からは「同じ層」を掘り進めました。

3月13日に始まった三次発掘からこの補足調査を通じて「同じ層」から出てきた化石数をまとめることができました。数字は暫定数で、あとの研究で修正されたものもあります。

			V	I	S	B	H
			脊椎動物化石	昆虫化石	貝化石	植物化石	その他
中央セクション の北側 (G7G12G8G1 3の斜面)	E層上部層	第三次発掘3月-4月	8	40	26	94	7
		—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	
		合計	8	40	26	94	7
	E層下部層	第三次発掘3月-4月	58	48	35	73	4
三次発掘補足5月	21	21	18	35	1		
三次発掘補足9月	1	1	6	3	—		
合計	80	70	59	111	5		
中央セクション の南側 (G9,G14,G19)	E層下部層	第三次発掘3月-4月	5	34	5	7	0
		三次発掘補足5月	—	—	—	—	—
		三次発掘補足9月	—	—	—	—	—
		合計	5	34	5	7	0
	F層	第三次発掘3月-4月	—	—	1	—	—
—	—	—	—	—			
三次発掘補足9月	1	10	8	9	2		
合計	1	10	9	9	2		
粘土の山	第三次発掘3月-4月			1	3	3	
	三次発掘補足5月					1	
	三次発掘補足9月						
	合計	0	1	3	4	0	